



身体の病気と歯科治療

脳血管障害と歯科治療④



歯科医師 東海林 克

これまで「脳卒中」と呼ばれている疾患の中で、「脳内出血」と「クモ膜下出血」の、血管が破れることで起こる疾患について述べてきました。今回から残りの「脳梗塞」についてその概要と、歯科との関連についてお話してまいります。

◇脳卒中とは

(3) 脳梗塞

(cerebral infarction/stroke)

脳を栄養する動脈が閉塞したり狭窄したりすることで、血液が行かなかつたり、量が少なくなつたりします。脳の栄養される部分に酸素、または栄養の不足が起こると「脳虚血(のうきよけつ)」といわれます。「脳虚血」によって脳細胞の壊死、あるいは壊死に近い状態になることを「脳梗塞(のうこうそく)」といいます。

① 一過性脳虚血発作

Transient ischemic attacks: (TIA)

「一過性脳虚血発作(いつかせいのうきよけつほっさ)」は、一時的に脳が虚血状態となって神経症状が起き、24時間以内に改善するもの

を指します。

◆一過性脳虚血発作の原因

虚血の起こり方で以下の2つがあります。

a. 閉塞性(へいそくせい)

太い血管や心臓内で血の塊である「血栓(けっせん)」ができて、その一部が血液の流れに乗って脳に飛んで、脳の細い血管を詰まらせるものです。詰まった血管と関係している脳の支配部位は、血液供給が足りなくなることによって障害を受けます。神経症状が現れます。一過性脳虚血発作の場合できた血栓が小さいので、自然に溶けて血流が再開することから、神経症状も消えます。

b. 血行力学性(けつこうりきがくせい)

元々脳に血液を送る血管が細くなっている状態で、一時的に血圧

低下することによって、その先にある部分への血流が大幅に減少して脳虚血状態になります。血圧が戻れば血流も戻るので神経症状は消えます。しかし、再び何らかの理由で血圧が下がると一過性脳虚血発作を繰り返すことがあります(左図参照)。

◆一過性脳虚血発作の症状

症状は一過性の閉塞あるいは狭窄が、「内頸動脈領域(ないけいどうみやくりょういき)」「あるいは「椎骨脳底動脈系(ついこうとう)」のどちらで起こるかで異なります。また症状は突発的に起こり、数秒ないし5分以内、長くても24時間以内に一旦消失します。

p. 内頸動脈領域の場合

「上肢(じょうし)」または「下肢(かし)」の中のうち一肢の運動麻痺を起こす「単麻痺(たんまひ)」、あるいは左右どちらか一側にみられる上下肢の運動麻痺である「片麻痺(かたまひ・へんまひ)」、感覚異常、構語障害、失語などがみられます。

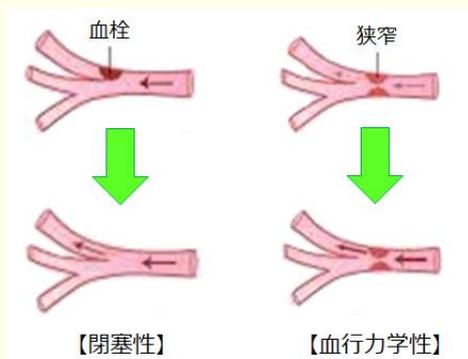
b. 椎骨脳底動脈系の場合

めまいや両眼の同じ側が見えなくなる「同名半盲(どうめいはんもう)」、運動失調や半身不遂(両側の筋力低下、感覚障害や呂律が回らなくなる「構語障害(こうごしょうがい)」などがみられます。

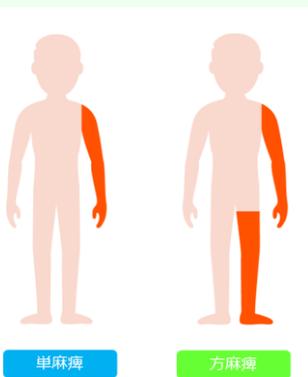
◆自分でもできる確認方法

一過性脳虚血発作に限らず、脳の梗塞性疾患にかかったときに、自分や家族で行える「FAST(ファスト)」と呼ばれる確認方法があります(詳細は裏頁に記載)。覚えておく役立つかもしれません。

虚血発作の原因



運動麻痺について



Face : (顔のまひの確認)

口の両端を「口角(こうかく)」と言います。両側の口角を引き上げるようにして「イー」と言って笑顔を作ってみましょう。それまで何でもなかったのに片側の口角が突然あがらなくなったら TIA の疑いが高くなります。

Arm : (腕の麻痺の確認)

目を閉じて、手のひらを上向きにして両腕をまつすぐ前に突き出して見ましょう。麻痺がある場合には麻痺がある側の腕が回転しながら下がってきます。

Speech : (言葉の麻痺の確認)

短い簡単な文章を実際にいくつか発音して確認してみましょう。例えば「太郎が花子にリンゴをあげた」と「ラ行」の多い文章を言ってみると判りやすいといわれます。その時になって思い出せない場合には、どんな文章でもいいかのでいくつもはつきりと言ってみましょう。

Time : (お医者さんの診察)

以上の3つの確認を行ってどれかが明らかに該当していたらときには、診察が必要なので病院に行きましょう。

FAST



おかしいと思ったら急いで病院へ！

ABCDD スコア

Table with 3 columns: 名称 (Name), 内容 (Content), 点数 (Points). Rows include Age (60+), Blood pressure (140/90 mmHg), Clinical features (stroke symptoms), Duration of symptoms (60+ min), and Diabetes (present).

TIA発症後2日以内の脳卒中のリスクは3点以下では1.0%、5点以下で4.1%、6点以上で8.1%とされている。糖尿病を除いたABCDDスコアでは4点以内の脳卒中のリスクが評価されており、4点では2~4%、5点では12~28%、6点では28~36%とされている。

◆ 脳梗塞への移行

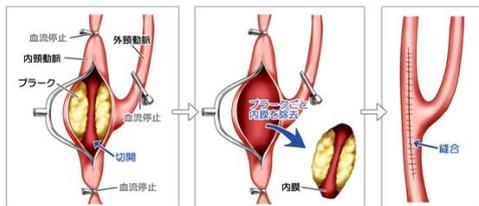
一過性脳虚血発作が、本格的な脳梗塞の前ぶれであるケースが非常に多いといわれます。医学的な検討で、一度 TIA を起こすと一週間から一ヶ月以内に、本格的な脳梗塞の発作を起こす危険性が高まるということが確認されています。最近の研究では、特に24時間以内に本格的な脳梗塞の発症が起こるケースが多いことが明らかになっています。ABCDD スコア (Age: 年齢) (B) blood pressure: 血圧 (C) clinical features: 臨床所見、(D) duration: 持続時間、及び (diabetes: 糖尿病の有無) を用いて脳梗塞の進展の予測が可能であるとされています。

◆ 一過性脳虚血発作の治療法

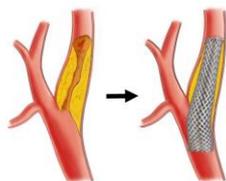
治療の目的は、脳梗塞への移行を防ぐことです。心房細動や弁膜症などが原因で血栓が生じている場合には、さらに血栓ができることを予防するために「抗凝固薬(こうぎようやくやく)」などによる治療が行われます。それ以外の原因が考えられる場合には、血液が固まりづらくするために「抗血小板薬(こうけつしょうばんやくやく)」による治療が行われます。また、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの動脈硬化の原因となる病気がある場合には、その治療も同時に行われます。超音波検査で内頸動脈が著しく狭まっていることがわかった場合には、手術によって狭くなった部分の血管の内側の病変を取り除く「頸動脈内膜剥離術(けいどうみやくくないまくはくりじゅ)

一過性脳虚血発作の外科的対応

頸動脈の動脈壁の内側に、コレステロールや中性脂肪などの「脂質(しじつ)」、カルシウムや様々な線維性結合組織を含んだ細胞や細胞の死骸から構成された動脈血管内の蓄積物の固まりである「粥腫(じゅくしゅ): atheromatous plaque」が形成されることによって血管が狭くなる病気を「頸動脈狭窄症(けいどうみやくきょうさくしやう)」といいます。狭くなることで血液が通りづらくなったり、小さな血栓でもつまりやすくなります。この「粥腫」を外科的に取り除く手術法を「頸動脈血栓内膜剥離術(carotid endarterectomy: CEA)」といいます。



全身麻酔での手術ができない場合には、「頸動脈ステント留置術」が行われます。



つ」を行う場合もあります。高齢者や心臓の病気があることで、手術を受けることが難しい方の場合には、カテーテルを用いて内頸動脈にステントを挿入し、血管を広げる「頸動脈ステント術」が行われることもあります。

【以降次号に続きます】

《引用文献》

- (1) メディカルノート 一過性脳虚血発作 ホームページ
(2) 社会医療法人 恩賜財団 済生会 ホームページ
(3) アトム法律事務所弁護士法人グループ ホームページ
(4) アットホーム介護 脳梗塞の前兆 TIA を見逃すな！ ホームページ
(5) 小田原市 ホームページ
(6) メディカルノート 頸動脈狭窄症の治療① 頸動脈血栓内膜剥離術(CEA) ホームページ
(7) 国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 ホームページ